



◎ 常盤平地域まちづくり検討会議（第1回）を開催しました。

松戸市では松戸市総合計画に定める「子育て世代や若者に選ばれ、高齢者を含め、全世代が健やかに安心して暮らせるまち」の実現に向け、検討を始めております。

また、令和7年2月には「常盤平地域のまちづくり方針」を策定し、常盤平地域の再生に取り組んでいくこととしています。

さらに、本年度から、常盤平地域の新しいまちづくりを進めるために、自治会や商店会、地域で活動する団体、常盤平地域まちづくりに関連した民間企業や団体、松戸市が一体となる組織を立ち上げることとなり、令和7年10月29日に第1回目のまちづくり検討会議を開催しました。

第1回まちづくり検討会議の概要

日時：令和7年10月29日（水） 18時～19時30分

場所：常盤平市民センター

出席：自治会や地域で活動されている皆様 12名

松戸市職員 5名、コンサルタント 5名

テーマ：「常盤平地域の現状と課題、常盤平地域に寄せる思い等について」

まちづくり検討会議の様子

当日は、松戸市の常盤平駅周辺まちづくり推進課の職員による検討会議の主旨・進め方の説明後、テーマや下記の4つの項目について3班に分かれ、コンサルタントの進行によりワークショップ形式にて、様々な意見交換が行われました。

- ・常盤平地域はどんなまちなのか、常盤平地域に対する思い
- ・常盤平地域の現状（好きな点、身近な問題、大切にしたもの）
- ・課題や問題に対して対処した経験、考えられる対処方法
- ・特に重要な問題、今後も継続して検討すべき問題、残したいもの



開会の挨拶



市職員説明の様子



ワークショップ形式による意見交換の様子

◎ 本検討会議の主旨について

松戸市は、「常盤平地域のまちづくり方針」を策定し、常盤平地域の再生に取り組んでいます。常盤平地域のまちづくり計画の作成に向けて常盤平地域の課題やこれからの将来像について、意見交換を行うことを主な目的としています。

本検討会議は、自治会や商店会、地域で活動する団体、UR都市機構、松戸市を対象として開催します。

◎ 常盤平地域のまちづくり方針について

昭和30年～40年代に大規模な土地区画整理事業により整備された区域が多く、具体的なまちの再生方針を定める必要が生じている現状を踏まえ、常盤平地域のまちづくり方針を策定しました。

具体計画のイメージ

コンセプトとして定めた「人とみどりが つながる広がる ときわだいら」の実現に向け、以下の6つの方針を掲げています。地元の各関係者の皆様の声に耳を傾けながら、令和8年度末を目途に方針を具体化するパターンを作成してまいります。

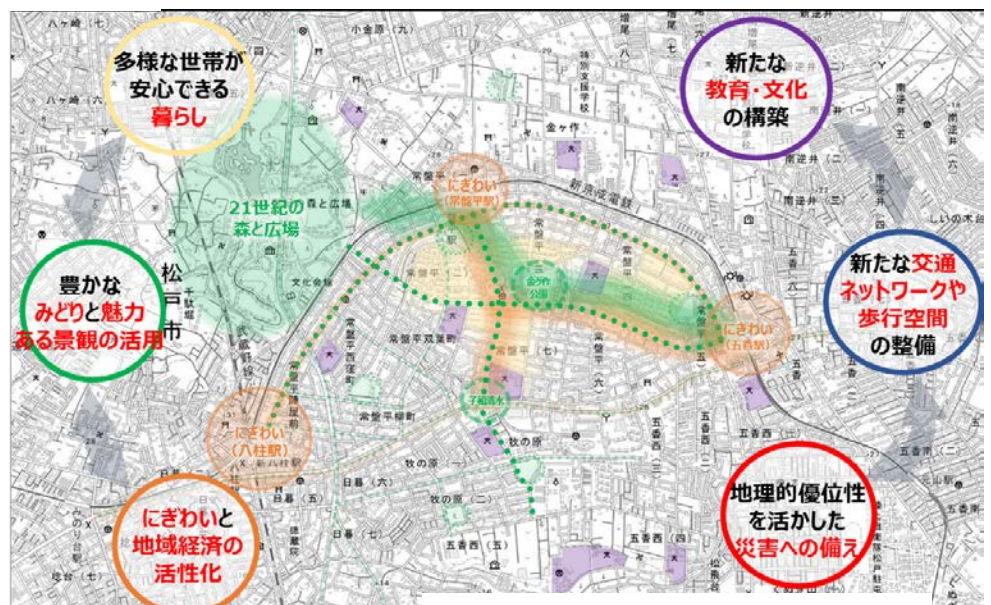
- ・ 多様な世帯が安心できる暮らし
- ・ 豊かなみどりと魅力ある景観の活用
- ・ にぎわいと地域経済の活性化
- ・ 新たな教育・文化の構築
- ・ 新たな交通ネットワークや歩行空間の整備
- ・ 地理的優位性を活かした災害への備え

※常盤平地域のまちづくり方針 抜粋 (2025.2 松戸市)

(令和8年度末)
方針を具体化

常盤平地域のまちづくり方針

常盤平地域のまちづくり方針をもとに、団地の再生を契機とした新しいまちづくりの検討を行います。令和9年度にまちづくり計画の策定を予定しており、検討内容は、各種業務の進捗に応じて常盤平地域のまちづくり計画に反映させていく予定です。



電子地形図 25000 (国土地理院) を加工して使用

◎ 主な意見交換の内容

当日は、参加者から様々な意見をいただき、有意義な意見交換の場となりました。以下にいただいた意見を整理いたします。

当日の皆様の意見

A 班

B 班

C 班

常盤平地域の好きなおとこ、大切にしたいもの

- ・常盤平の道路は緊急車両が入りやすい構造である
- ・地域の資源があるがあまり認識されていない(熊野神社・祖光院)
- ・子和清水、子ども農園は良い自然環境だが、手入れが必要

- ・けやき通りやさくら通りなど、他の地区にはない自然豊かな環境が残っていること
- ・買い物や病院、温泉などの利便性が非常に高いこと
- ・商店街があること
- ・団地の維持管理等のサービスが良い。設備が故障した際、無償で更新していただいた

- ・自治会のイベントで他町会の方とも交流してきた
- ・自治会のイベントは何十年も継続している
- ・クリニックが充実している
- ・担い手となる子どもを地域で育てる環境として、中学生に地位活動に参加してもらっている

常盤平地域の課題や懸念点

- ・高齢化が進み、地域の活動を行う際、参加者が少ない
- ・高齢者の見守りが行き届かない
- ・線路や踏切の混雑で南北が分断されているように感じる
- ・高齢者にとって駅や主要な施設間の徒歩での移動が不便。コミュニティバスの経路に不満がある
- ・地域資源の認知度が低く、活用されていない
- ・飲食店が少ない

- ・UR団地では空き家対策をしているが、空き家は増えている
- ・外国人の居住者が増えている
- ・夜に明かりが少ないことから、治安に不安がある
- ・移住していただきたいが、コミュニティのルールや理解や秩序維持への対応が必要
- ・生徒数が減った小学校の周りは特に過疎化が進んでいる
- ・団地の設備の更新が必要である
- ・飲食店やデパートが少ない

- ・高齢化が進み、地域の活動を行う際、運営する人が集まらない
- ・地域活動の運営は大変であるが、一度中断すると継続が困難となる
- ・団地自治会が大きく、集金が大変
- ・学生が利用していた寮が空きビルになり、学生が減り、賑わいが減った
- ・商店街に人通りが少ない
- ・五香商店街に店舗の入居はあるが、商店会に加盟しない店舗が増えている

常盤平地域に対する思い、今後の展望

- ・豊かな自然、史跡といった地域資源を残したい
- ・今あるボウリング場を含めて、レジャーやスポーツなどで盛り上げたい
- ・常盤平駅周辺は、賑わいは必要だが、八柱、五香とは違う方向性が必要
- ・並木等景観を保全したい
- ・分譲住宅を増やせば、地域に愛着がわくのではないか

- ・実情をよく理解し、未来を見据えたまちづくりをしたい
- ・夜も安心して歩けるようなまちにしていきたい
- ・子育て世代を呼び込んで、長く続けられるようなまちにしたい
- ・既存の住民も長く暮らせる新しいまちづくり
- ・緑豊かな環境を維持したまちづくり
- ・多様な人が住みたくなり、受け皿となれるようなまちにしたい
- ・大学誘致や文化溢れるまちにしたい
- ・興味を引くような施設が欲しい

- ・新しいまちづくりでは自治会の範囲をよく考えてほしい
- ・団地建物や空きビルを学生やデザイナーに貸してみてもどうか
- ・URと協力して、学生に住んでもらえるようなまちづくりを取り組みたい
- ・学生寮や社宅など多様な住戸形式を整備し、賑わいを戻したい
- ・地域で交流できる場が必要



次回の検討会議で議論していただきたいこと

第2回のテーマ（案）

○ 常盤平地域における現状の課題とまちづくりについて

第1回の意見で参考となる内容（まとめ）

- ・ 高齢化により、後継者が不足し、地域の活動の継続が困難である
- ・ 商業施設の不足、空き家の増加で賑わいに欠いている
- ・ 地域資源があまり認知されていない
- ・ 団地の再生が必要である
- ・ 多様な方に移住していただきたいが、治安維持に不安がある
- ・ 踏切の混雑や、拠点間の移動等、交通面で不便な点がある 等

第2回のテーマ（案）

○ 常盤平地域のまちづくり資産の活用について

第1回の意見で参考となる内容（まとめ）

- ・ 子育て世代を呼び込む施設を検討したい
- ・ 学生に住んでもらう、活動してもらうために空きビルや施設、団地の活用方法を考えたい
- ・ 豊かな自然、歴史的価値など地域資源を残す
- ・ 踏切の拡幅や歩道の設置、コミュニティバスの経路の工夫で、拠点間の移動の利便性を図りたい 等

皆さんで議論した内容を、進捗に合わせ市のまちづくりの計画へと反映する予定です！



やさシティ、まつど。
matsudo

本まちづくり通信に関するお問い合わせ先
松戸市街づくり部 常盤平駅周辺まちづくり推進課
TEL：047-710-5523 FAX:047-710-6689
Email：mctokitan@city.matsudo.chiba.jp

